

第2回「渡辺淳一文学賞」 受賞作決定のお知らせ

2017年3月31日
株式会社 集英社

ひらの けい いち ろう
平野啓一郎

『マチネの終わりに』

(毎日新聞出版刊)



1975年愛知県蒲郡市生。北九州市出身。京都大学法学部卒。1999年在学中に文芸誌「新潮」に投稿した『日蝕』により第120回芥川賞を受賞。著書は、小説に『葬送』『滴り落ちる時計たちの波紋』『決壊』(芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞)『ドーン』(Bunkamura ドゥマゴ文学賞受賞)『かたちだけの愛』『空白を満たしなさい』『透明な迷宮』、エッセイ・対談集に『私とは何か「個人」から「分人」へ』『「生命力」の行方～変わりゆく世界と分人主義』等がある。2014年、フランス芸術文化勲章 シュヴァリエを受章。Twitter: @hiranok

撮影：瀧本幹也

■ 第1回受賞作

川上未映子 『あこがれ』 (新潮社刊)

■ 創設の趣旨

「昭和・平成を代表する作家であり、豊富で多彩な作品世界を多岐にわたり生み出した渡辺淳一氏の功績をたたえ、純文学・大衆文学の枠を超えた、人間心理に深く迫る豊潤な物語性を持った小説作品を顕彰します」

主催：株式会社 集英社
公益財団法人 一ツ橋綜合財団

■ 第2回の対象 2016年1月～2016年12月に刊行の、日本語で書かれた小説単行本および単行本未刊行の文庫

■ 今後の日程

- ◎ 受賞作品の発表誌
「小説すばる」2017年5月号（4月17日発売）
「すばる」2017年6月号（5月6日発売）
- ◎ 第2回「渡辺淳一文学賞」
贈賞式・祝賀パーティー 2017年5月19日
- ◎ 賞：正賞 = 記念品 副賞 = 200万円

■ 選考委員



浅田次郎

1951年東京都生まれ。1995年『地下鉄に乗って』で吉川英治文学新人賞、1997年『鉄道員』で直木賞、2000年『壬生義士伝』で柴田錬三郎賞、2006年『お腹召ませ』で中央公論文芸賞、司馬遼太郎賞、2008年『中原の虹』で吉川英治文学賞、2010年『終わらざる夏』で毎日出版文化賞、2016年『帰郷』で大佛次郎賞を受賞。2015年紫綬褒章受章。



小池真理子

1952年東京都生まれ。1996年『恋』で直木賞、1998年『欲望』で島清恋愛文学賞、2006年『虹の彼方』で柴田錬三郎賞、2012年『無花果の森』で芸術選奨文部科学大臣賞、2013年『沈黙のひと』で吉川英治文学賞を受賞。



高樹のぶ子

1946年山口県生まれ。1984年『光抱く友よ』で芥川賞、1995年『水脈』で女流文学賞、1999年『透光の樹』で谷崎潤一郎賞、2006年『HOKKAI』で芸術選奨文部科学大臣賞、2010年『トモスイ』で川端康成文学賞を受賞。2009年紫綬褒章受章。2017年日本芸術院賞を受賞。



宮本 輝

1947年兵庫県生まれ。1977年『泥の河』で太宰治賞、1978年『螢川』で芥川賞、1987年『優駿』で吉川英治文学賞、2004年『約束の冬』で芸術選奨文部科学大臣賞、2010年『骸骨ピルの庭』で司馬遼太郎賞を受賞。2010年紫綬褒章受章。



わたなべじゅんいち

■ 渡辺淳一プロフィール

1933年北海道生まれ。2014年4月30日没。医学博士。1958年、札幌医科大学医学部卒業後、母校の整形外科講師をつとめるかたわら小説を執筆。1970年『光と影』で直木賞、1980年『遠き落日』『長崎ロシア遊女館』で吉川英治文学賞、2003年紫綬褒章、菊池寛賞など受賞歴多数。2016年『渡辺淳一 恋愛小説セレクション』全9巻刊行。

【お問い合わせ先】 集英社 文芸編集部 清田 TEL 03-3230-6099
文庫編集部 江口 TEL 03-3230-6095